

昭和22年7月洪水
湯沢市(雄勝鉄道の被災)

県内死者25名
住家流失355戸
床上浸水15,808戸

昭和22年
浸水した家屋
(大雄村)

大洪水から60年。

雄物川防災フォーラム

昭和22年の大洪水を契機に、雄物川では治水計画が抜本的に見直され、廻畑ダム、皆瀬ダムや玉川ダムの建設、大曲捷水路や各地区の堤防建設などの治水事業が進められ、その後の洪水被害の軽減に大きな効果を発揮しています。

しかし、近年は集中豪雨の増加、計画規模を超える大雨等が発生し、また、市街地化が進んだことにより、洪水により堤防決壊が発生した場合、以前より被害は甚大なものとなります。

今一度、過去の大水害の記憶を思い起こし、いざというときのために、また、安全で安心できる社会の構築に向け、地域の皆様と一緒に考えたいと思います。

雄物川防災フォーラム.....

日時 / 平成19年 **7月26日(木)**
午後1時30分～午後4時30分
[開場:午後1時～]

会場 / 湯沢文化会館

※会場の都合上、定員300名程度とさせていただきます。



会場案内

湯沢1.Cから車で約1～2分
湯沢駅から車で約5分

主な内容

映像紹介 写真で振り返る雄物川の洪水
基調講演 「近年の大雨災害について」
朗読 「洪水体験文集“ほっぺ”より」
パネルディスカッション

主催 / 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所

お問い合わせ先 | 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
調査第一課 TEL.0183-73-5544

後援 / 秋田県、秋田市、横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村、(社)東北建設協会、(株)朝日新聞秋田総局、(株)毎日新聞秋田支局、(株)読売新聞秋田支局、(株)産経新聞秋田支局、(株)河北新報社秋田総局、(株)時事通信社秋田支局、(社)共同通信社秋田支局、(株)秋田新報社、NHK秋田放送局、A B S秋田放送、A K T秋田テレビ、A A B秋田朝日放送、(株)秋田ケーブルテレビ、(株)エフエム秋田、(株)エフエムゆーとびあ (順不同)

雄物川防災フォーラム 大水害から 60年。

主なプログラム

●
映像紹介

「写真で振り返る雄物川の洪水」

●
基調講演

「近年の大雨災害について」

秋田地方気象台長

上野 達雄 氏

●
朗読

「洪水体験文集“ほっぺ”より」

旧中仙町立長野小学校元教諭

佐々木 圭子 先生

旧中仙町立長野小学校元生徒

福山 美保子 さん

●
パネルディスカッション

昭和22年の洪水の被害状況や、
その後の治水事業、地域の防災等について
ディスカッションしていただきます。



秋田地方気象台長

上野 達雄 氏

profile

1952年山口県生まれ
九州大学大学院修了、1976年気象庁入庁、新潟
地方気象台予報課長、太平洋台風センター所長、
予報部予報課主任予報官など歴任
平成19年4月より現職

洪水体験文集“ほっぺ”とは

旧中仙町立長野小学校2年生が、水害にたびたび襲われた当時の怖さについて、見たまま、感じたままに書いた作文を、担任の高橋圭子(現佐々木)先生がまとめた文集で、平成19年3月に復刻しました。